73　東日本大震災から１１年

３月１１日、今年もこの日となりました。１４時４６分、突如襲ってきた大きな揺れと、電気の遮断。テレビに映し出される光景は、パニック映画の一シーンのようでした。

あれから１１年、震災で亡くなられた方　１万５９００人、いまだに行方が分からない方２５２３人と、１１年は経ったものの、現地で震災を経験された方にとってはまだまだ復興の途中ということです。それゆえ、決して風化させてはいけない、私たちにとって思いを寄せる日だととらえています。

１１年前の夏、横浜市教育委員会は、震災の被害に遭った子どもたちや、現地の教職員の方々に少しでも役立つ活動をしようということで、教職員を順次派遣しました。その派遣隊に加わって、私も石巻に入ったのですが、津波によって内陸部まで運ばれた漁船がそのまま置かれていたり、ガソリンスタンドの物であったであろう大きな看板が、道の横に落ちていたり、撤去された車が何百台と積み重ねられ、巨大な壁のようにそそり立っていたりと街の様子は筆舌に尽くしがたいものでした。そしてその光景に加え、ガソリン臭交じりの異様なにおいは今も忘れることはできません。

臨時の先生として、小学生の学習指導にあたりましたが、ある１年生の女の子は、いとこのお姉さんが目の前で、川のようになった水に流されていくのを見たと話してくれました。情けないことですが、かける言葉すら見つかりませんでした。

2011.8.2 日本製紙石巻工場付近

万一の自然災害に備え、家庭内備蓄や避難場所・集合場所の確認等をご家庭で話し合っておいていただきたいと思います。